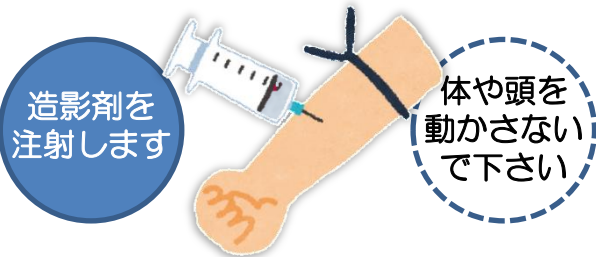


【MRI】造影検査を受ける方へ

MRI検査では『ガドリニウム製剤』という造影剤を投与して検査をすることがあります。造影剤は肘などから静脈に注射します。造影剤は副作用を起こす可能性があり、副作用を起こしやすい体質の方がいます。

造影検査の手順



造影剤による副作用の例

● 軽度
かゆみ・発疹・吐き
気・嘔吐・頭痛・
胃の不快感など



● 中程度
息切れ・動悸・不整脈
など



● 重 度
ショック・呼吸困難・
意識消失・腎不全・
血圧低下など



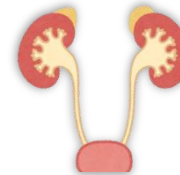
副作用発生時の準備や対策は
万全を期しております。

副作用をおこし易い方



過去に造影剤で副作用
を起こしたことがある。

喘息を患っている。
又は過去に患っていた。



腎臓の機能が低下して
いる。
腎臓の手術歴がある。

腎機能が明らかに低下している
人に造影剤を投与すると、
腎性全身性線維症 (NSF)
を発症することがあります。



腎機能を調べるために造影検査
に先立って血液検査を実施する
ことがあります。